

観光統計

宿泊旅行統計調査

令和3年2月26日  
観光庁

(令和2年12月・第2次速報、令和3年1月・第1次速報)

1. 延べ宿泊者数

- 令和2年12月の延べ宿泊者数(全体)は、2,786万人泊、前年同月比-40.9%であった。  
また、令和3年1月は、1,681万人泊、前年同月比-61.0%であった。
- 日本人延べ宿泊者数は、12月は、2,736万人泊、前年同月比-27.9%であった。  
また、1月は、1,637万人泊、前年同月比-51.1%であった。
- 外国人延べ宿泊者数は、12月は、50万人泊、前年同月比-94.5%であった。  
また、1月は、45万人泊、前年同月比-95.4%であった。

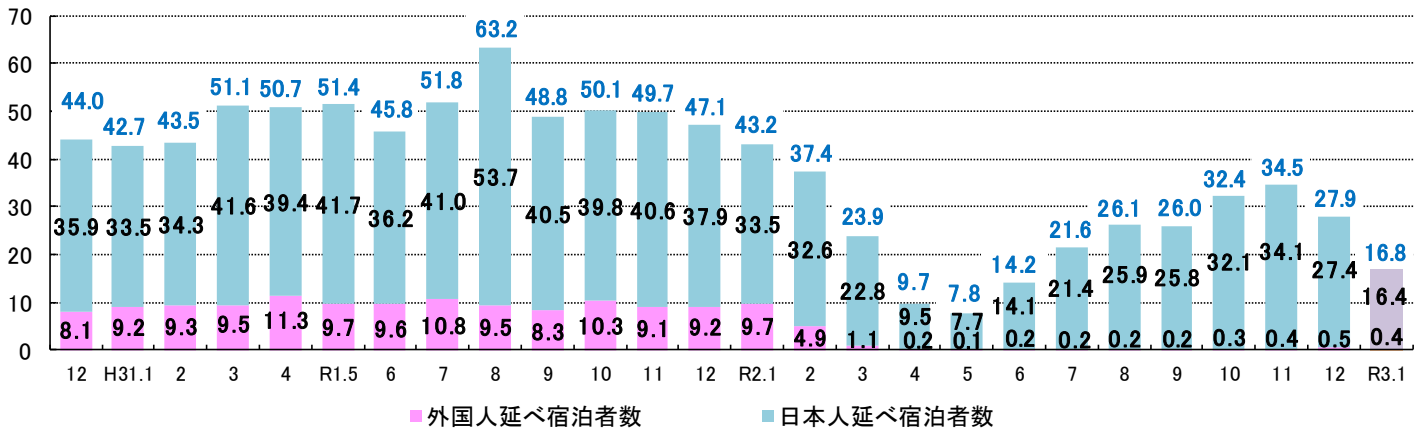
(万人泊)

	全体	日本人	外国人
R2.12	2,786	2,736	50
(前年同月比)	-40.9%	-27.9%	-94.5%
R3.1 (※)	1,681	1,637	45
(前年同月比)	-61.0%	-51.1%	-95.4%

※令和3年1月の数値は第1次速報値であり、令和3年3月31日公表予定の第2次速報値で変更となる可能性がある。

— 延べ宿泊者数の推移 —

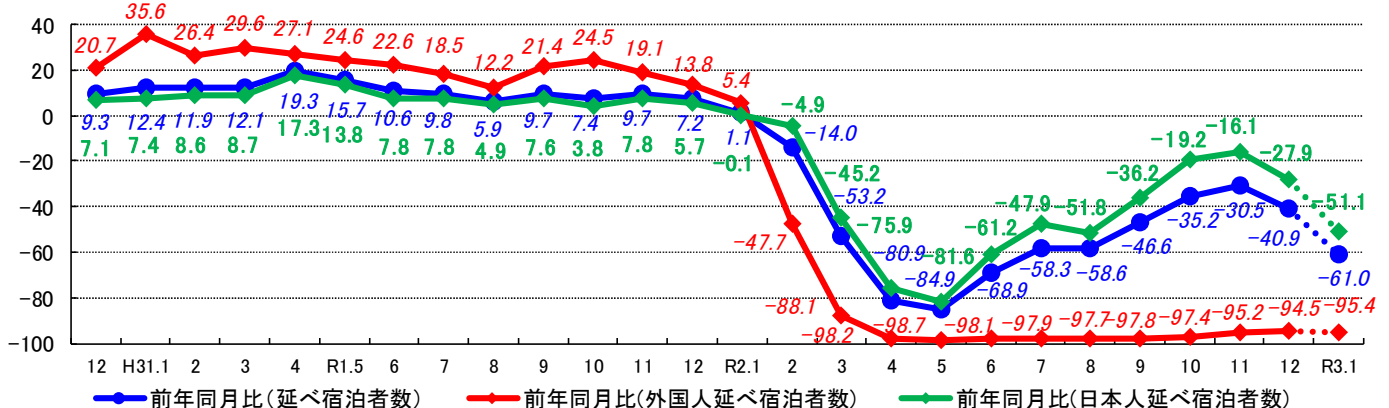
(百万人泊)



※上表の青字の数値は、日本人及び外国人の延べ宿泊者数を合計した全体の数値である。

— 延べ宿泊者数前年同月比の推移 —

(%)



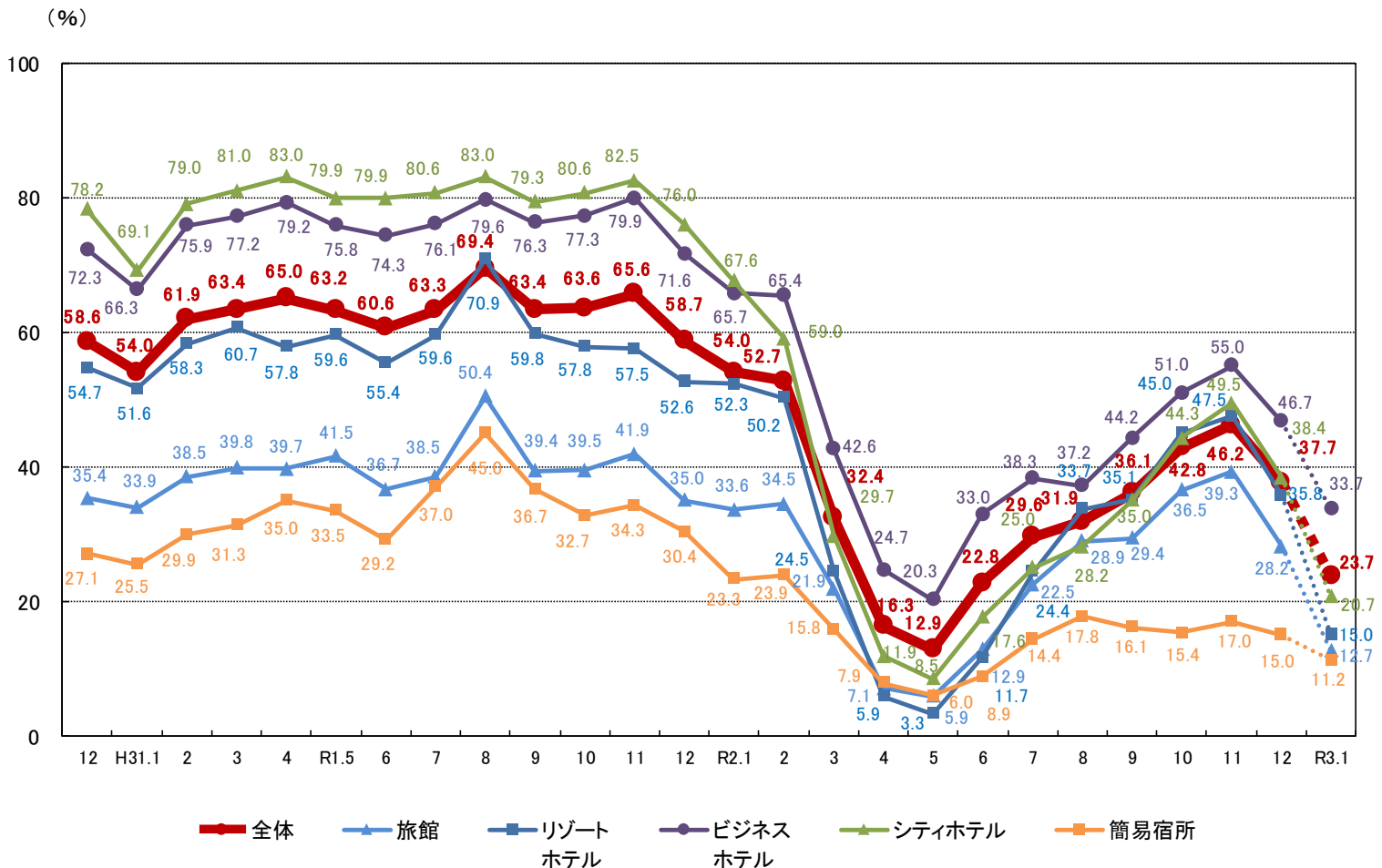
## 2. 客室稼働率

○令和2年12月の客室稼働率は全体で37.7%であった。また、令和3年1月は全体で23.7%であった。

	全体	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティ ホテル	簡易宿所
R2.12	37.7	28.2	35.8	46.7	38.4	15.0
(前年同月差)	-21.0	-6.8	-16.8	-24.9	-37.6	-15.4
R3.1(※)	23.7	12.7	15.0	33.7	20.7	11.2
(前年同月差)	-30.3	-20.9	-37.3	-32.0	-46.9	-12.1

※令和3年1月の数値は第1次速報値であり、令和3年3月31日公表予定の第2次速報値で変更となる可能性がある。

### －施設タイプ別客室稼働率の推移－



— 都道府県別宿泊施設タイプ別客室稼働率(令和2年12月(第2次速報)) —

(左、単位:%、右(「全体」は中央): 宿泊施設タイプ別の都道府県順位)

	全体		旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティ ホテル	簡易宿所						
	前年同月差												
全国	37.7	-	-21.0	28.2	-	35.8	-	46.7	-	38.4	-	15.0	-
北海道	25.3	45	-33.7	21.3	41	20.2	41	32.0	46	22.2	47	9.3	33
青森県	37.9	32	-9.3	27.0	29	19.2	44	49.2	33	35.0	41	6.1	41
岩手県	42.2	18	-4.4	32.4	16	25.8	35	54.0	16	55.8	8	15.5	14
宮城県	42.6	16	-12.2	34.5	13	30.7	30	51.5	28	40.4	36	17.6	7
秋田県	41.1	22	-2.2	28.2	27	41.0	16	52.3	23	51.1	18	7.7	35
山形県	33.4	40	-10.5	24.3	34	16.9	46	50.7	30	43.3	32	3.4	47
福島県	41.6	21	-8.2	32.4	16	30.7	30	52.1	25	53.2	12	23.7	2
茨城県	48.1	3	-10.7	23.0	38	36.3	24	57.5	7	37.1	39	15.8	12
栃木県	39.2	31	-8.0	36.5	10	32.9	27	52.3	23	39.1	37	13.0	18
群馬県	40.4	26	-13.7	30.5	22	23.1	40	64.9	1	54.9	10	6.8	38
埼玉県	50.0	1	-20.8	28.4	26	32.1	28	57.1	9	55.7	9	15.5	14
千葉県	47.0	6	-21.4	31.9	19	58.0	2	49.8	32	57.0	7	12.9	20
東京都	36.1	35	-42.3	24.1	35	25.5	37	41.5	42	30.5	44	20.0	5
神奈川県	50.0	1	-19.6	38.1	6	53.2	6	57.6	6	57.3	6	47.8	1
新潟県	30.0	41	-7.6	18.9	42	14.8	47	46.8	34	47.6	26	6.7	39
富山県	29.5	42	-14.4	22.4	39	23.9	39	34.9	45	37.8	38	4.7	45
石川県	42.4	17	-6.9	45.9	2	29.0	32	46.2	35	51.6	17	15.9	10
福井県	37.7	33	-10.9	30.4	23	37.8	19	54.0	16	28.0	45	9.8	29
山梨県	24.1	46	-14.7	18.0	45	20.1	42	52.0	26	48.5	23	7.4	36
長野県	23.4	47	-9.5	14.8	46	19.8	43	52.7	20	52.2	16	4.9	44
岐阜県	36.0	36	-17.4	23.8	36	26.6	34	60.8	2	32.5	43	12.9	20
静岡県	44.8	8	-10.0	39.6	5	35.4	25	58.0	5	47.6	26	12.1	25
愛知県	41.0	24	-24.6	25.2	32	34.3	26	44.3	39	42.9	33	14.9	17
三重県	44.4	11	-8.5	31.1	20	43.8	10	60.0	4	50.5	20	15.4	16
滋賀県	39.5	30	-8.1	33.9	15	42.0	13	50.8	29	49.5	21	6.1	41
京都府	33.8	38	-27.3	26.6	30	37.5	21	40.9	43	35.9	40	18.5	6
大阪府	29.4	43	-45.5	10.9	47	25.7	36	32.0	46	25.2	46	20.7	4
兵庫県	43.1	15	-10.6	36.0	11	42.1	12	53.3	18	54.4	11	9.0	34
奈良県	28.7	44	-5.9	18.6	43	58.4	1	39.0	44	41.6	35	9.7	30
和歌山県	36.4	34	-5.9	29.9	24	39.0	18	54.3	14	67.9	1	15.6	13
鳥取県	44.7	9	-6.3	44.6	3	18.4	45	56.2	11	58.0	5	9.9	28
島根県	47.8	4	-1.7	37.2	9	52.8	7	60.3	3	50.8	19	9.4	32
岡山県	41.1	22	-13.8	23.1	37	24.9	38	52.7	20	47.4	28	11.5	26
広島県	42.2	18	-18.5	25.4	31	42.7	11	50.5	31	45.7	30	10.8	27
山口県	47.8	4	-2.8	44.0	4	48.1	9	53.3	18	52.4	15	12.8	22
徳島県	43.2	14	-2.0	22.3	40	55.2	4	56.1	12	44.2	31	16.6	9
香川県	39.8	29	-11.1	37.3	8	41.2	15	46.0	36	52.7	13	17.3	8
愛媛県	40.1	27	-11.9	37.6	7	50.2	8	45.4	38	49.5	21	20.9	3
高知県	34.2	37	-10.7	27.2	28	37.6	20	45.5	37	52.5	14	5.3	43
福岡県	40.8	25	-27.2	24.6	33	27.4	33	44.2	40	48.1	24	12.8	22
佐賀県	43.9	12	-7.4	47.3	1	56.6	3	57.5	7	48.0	25	3.6	46
長崎県	45.2	7	-4.3	31.1	20	55.1	5	55.2	13	58.6	3	9.7	30
熊本県	41.7	20	-15.0	32.4	16	31.0	29	54.1	15	63.2	2	12.6	24
大分県	40.1	27	-11.6	34.1	14	36.6	23	52.4	22	45.8	29	7.1	37
宮崎県	44.7	9	-7.2	29.7	25	37.1	22	56.3	10	42.6	34	6.5	40
鹿児島県	43.3	13	-8.3	34.7	12	41.5	14	52.0	26	58.2	4	15.9	10
沖縄県	33.5	39	-26.1	18.1	44	39.9	17	43.0	41	35.0	41	13.0	18

※宿泊施設タイプ別に見たとき、客室稼働率が最も大きかった都道府県を朱書きにしている。

※「全体」の前年同月差は、前年同月の客室稼働率との差分を示している(前年同月比ではない)。

注1) 令和2年12月(第2次速報)は、令和2年12月分の宿泊旅行統計調査について、令和3年2月12日までに回収された有効な調査票(有効回収率:54.5%)を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、令和3年1月29日公表の「宿泊旅行統計調査(令和2年12月・第1次速報)」と異なる。

注2) 令和3年1月(第1次速報)は、令和3年1月分の宿泊旅行統計調査について令和3年2月12日までに回収された有効な調査票(有効回収率:20.5%)を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、令和3年3月31日公表予定の「宿泊旅行統計調査(令和3年1月・第2次速報)」で変更となる可能性がある。

注3) 前年同月差は、確報値との差分である。

注4) 本資料においては、平成19年～令和元年の数値は確定値、令和2年1月～令和2年12月の数値は第2次速報値、令和3年1月の数値は第1次速報値を使用している。

※参考: 令和2年12月・第1次速報公表時の有効回収率:31.9%

問い合わせ先  
観光庁観光戦略課観光統計調査室 中島、湯原、迫下  
TEL 03-5253-8111(内線 27-214、27-216、27-217)  
03-5253-8325(直通)  
FAX 03-5253-1691

## ～調査結果概要～

○令和2年12月の延べ宿泊者数は、2,786万人泊(前年同月比-40.9%)で、うち外国人延べ宿泊者数は50万人泊(前年同月比-94.5%)。延べ宿泊者全体に占める外国人宿泊者の割合は1.8%。

### 1. 都道府県別延べ宿泊者数

都道府県別延べ宿泊者数(令和2年12月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	27,863,790	-40.9%
北海道	1,044,220	-63.7%
青森県	265,930	-12.6%
岩手県	357,600	-22.3%
宮城県	594,650	-35.1%
秋田県	227,050	-2.3%
山形県	284,000	-30.4%
福島県	811,380	-15.8%
茨城県	416,720	-20.3%
栃木県	594,840	-14.6%
群馬県	469,920	-29.8%
埼玉県	310,840	-32.8%
千葉県	1,509,350	-40.7%
東京都	2,810,180	-60.0%
神奈川県	1,353,960	-31.9%
新潟県	562,700	-28.9%
富山県	184,550	-30.2%
石川県	499,280	-27.9%
福井県	230,040	-29.1%
山梨県	346,320	-39.7%
長野県	796,330	-32.3%
岐阜県	347,820	-37.8%
静岡県	1,374,950	-24.9%
愛知県	1,011,310	-37.5%
三重県	528,680	-19.3%
滋賀県	253,250	-29.2%
京都府	1,239,590	-48.1%
大阪府	1,292,030	-67.3%
兵庫県	886,780	-23.1%
奈良県	119,960	-37.6%
和歌山県	311,160	-19.3%
鳥取県	180,390	-20.2%
島根県	236,760	-13.0%
岡山県	294,610	-32.9%
広島県	523,000	-38.7%
山口県	284,030	+3.0%
徳島県	158,260	-14.6%
香川県	216,310	-36.3%
愛媛県	256,630	-23.6%
高知県	158,910	-19.1%
福岡県	959,710	-41.5%
佐賀県	177,790	-12.4%
長崎県	509,740	-6.5%
熊本県	459,590	-23.1%
大分県	433,600	-29.3%
宮崎県	292,590	-12.3%
鹿児島県	539,370	-14.4%
沖縄県	1,147,150	-53.3%

※ 前年同月比は、確定値との比較である。

## 2. 外国人延べ宿泊者数

### (1)都道府県別外国人延べ宿泊者数

○外国人延べ宿泊者数は、50万人泊であった。なお、同月と比較すると、調査開始以降過去最低であった平成20年12月の139万人泊(※1)を下回った。

※1)調査を開始した平成19年から平成22年3月までは従業者数10名以上の施設のみ調査対象としていた。

### 都道府県別外国人延べ宿泊者数(令和2年12月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

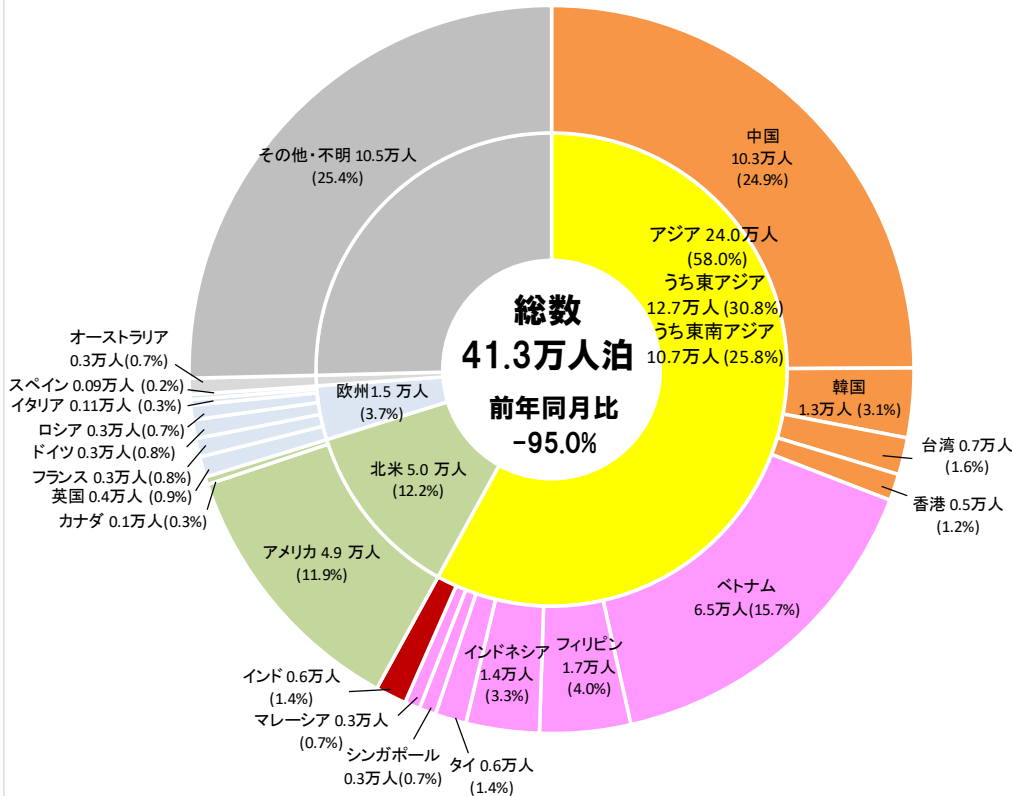
施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	504,210	-94.5%
北海道	4,180	-99.6%
青森県	1,270	-94.2%
岩手県	1,700	-95.0%
宮城県	4,440	-90.9%
秋田県	750	-93.1%
山形県	880	-97.0%
福島県	4,400	-71.5%
茨城県	3,710	-72.4%
栃木県	2,630	-91.1%
群馬県	3,880	-83.8%
埼玉県	2,040	-88.3%
千葉県	98,420	-73.6%
東京都	117,830	-95.2%
神奈川県	20,720	-91.9%
新潟県	2,270	-96.6%
富山県	1,390	-92.7%
石川県	1,940	-97.4%
福井県	800	-90.9%
山梨県	1,350	-99.0%
長野県	11,160	-92.8%
岐阜県	1,490	-98.9%
静岡県	9,040	-94.2%
愛知県	14,300	-95.1%
三重県	2,560	-90.6%
滋賀県	1,490	-95.2%
京都府	12,540	-98.4%
大阪府	102,570	-92.7%
兵庫県	5,920	-93.4%
奈良県	570	-98.1%
和歌山県	3,420	-90.9%
鳥取県	920	-93.8%
島根県	910	-82.5%
岡山県	2,810	-91.5%
広島県	3,880	-94.8%
山口県	1,650	-72.0%
徳島県	360	-96.5%
香川県	1,500	-96.5%
愛媛県	4,040	-73.3%
高知県	560	-91.4%
福岡県	10,690	-96.3%
佐賀県	2,090	-91.2%
長崎県	8,220	-80.4%
熊本県	3,030	-95.9%
大分県	2,120	-97.2%
宮崎県	320	-98.9%
鹿児島県	1,650	-97.7%
沖縄県	19,780	-96.3%

※ 前年同月比は、確定値との比較である。

## (2) 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数

- 令和2年12月の国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国、第2位がベトナム、第3位がアメリカ、第4位がフィリピン、第5位がインドネシアで、上位5カ国・地域で全体の59.8%を占める。
- 前年同月比はベトナム以外の国籍(出身地)において9割前後減少している。

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(令和2年12月(第2次速報))



順位	国籍(出身地)	合計		前年同月比
		(人泊)	シェア	
第1位	中国	103,000	24.9%	-95.5%
第2位	ベトナム	64,660	15.7%	+20.0%
第3位	アメリカ	49,100	11.9%	-90.9%
第4位	フィリピン	16,700	4.0%	-90.5%
第5位	インドネシア	13,540	3.3%	-94.0%
第6位	韓国	12,730	3.1%	-96.9%
第7位	台湾	6,800	1.6%	-99.3%
第8位	タイ	5,730	1.4%	-98.8%
第9位	インド	5,650	1.4%	-87.2%
第10位	香港	4,860	1.2%	-99.3%
第11位	英国	3,800	0.9%	-96.2%
第12位	フランス	3,390	0.8%	-94.9%
第13位	ドイツ	3,370	0.8%	-93.6%
第14位	シンガポール	3,080	0.7%	-99.4%
第15位	オーストラリア	2,950	0.7%	-99.0%
第16位	マレーシア	2,850	0.7%	-98.9%
第17位	ロシア	2,690	0.7%	-91.1%
第18位	カナダ	1,380	0.3%	-98.4%
第19位	イタリア	1,050	0.3%	-97.4%
第20位	スペイン	930	0.2%	-97.2%
	その他	93,380	22.6%	-86.5%
	合計	413,120	100.0%	-95.0%

- ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
- ※ 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数の調査において、以下のとおり調査対象国を追加している。
- ・平成25年第1四半期調査よりインドネシア
  - ・平成25年第2四半期調査よりベトナム、フィリピン
  - ・平成27年4月分調査よりイタリア、スペイン
- ※ 前年同月比は、確定値との比較である。

# <参考>延べ宿泊者数・客室稼働率推移表

## ○延べ宿泊者数推移表

(単位:人泊、%)

	延べ宿泊者数		うち日本人延べ宿泊者数		うち外国人延べ宿泊者数		
	前年(同月)比		前年(同月)比		前年(同月)比		
平成19年	309,381,780	—	286,727,440	—	22,654,340	—	
平成20年	309,698,710	+0.1%	287,450,410	+0.3%	22,248,300	-1.8%	
平成21年	301,303,940	-2.7%	283,006,170	-1.5%	18,297,770	-17.8%	
平成22年	413,048,930	+15.8%	385,539,960	+14.1%	27,508,970	+42.2%	
平成23年	417,234,450	-2.7%	398,818,760	-0.1%	18,415,690	-34.6%	
平成24年	439,495,120	+5.3%	413,180,780	+3.6%	26,314,340	+42.9%	
平成25年	465,893,370	+6.0%	432,397,640	+4.7%	33,495,730	+27.3%	
平成26年	473,501,950	+1.6%	428,677,350	-0.9%	44,824,600	+33.8%	
平成27年	504,078,370	+6.5%	438,463,770	+2.3%	65,614,600	+46.4%	
平成28年	492,485,160	-2.3%	423,096,220	-3.5%	69,388,940	+5.8%	
平成29年	509,596,860	+3.5%	429,906,270	+1.6%	79,690,590	+14.8%	
平成30年	538,001,500	+5.6%	443,726,260	+3.2%	94,275,240	+18.3%	
平成31年・令和元年	595,921,480	+10.8%	480,265,130	+8.2%	115,656,350	+22.7%	
令和2年	304,799,780	-48.9%	286,769,210	-40.3%	18,030,570	-84.4%	
令和2年	1月	43,156,910	+1.1%	33,454,210	-0.1%	9,702,700	+5.4%
	2月	37,443,380	-14.0%	32,591,440	-4.9%	4,851,940	-47.7%
	3月	23,940,920	-53.2%	22,810,550	-45.2%	1,130,370	-88.1%
	4月	9,706,670	-80.9%	9,504,040	-75.9%	202,630	-98.2%
	5月	7,785,180	-84.9%	7,656,040	-81.6%	129,140	-98.7%
	6月	14,240,840	-68.9%	14,061,600	-61.2%	179,240	-98.1%
	7月	21,578,040	-58.3%	21,352,150	-47.9%	225,890	-97.9%
	8月	26,149,030	-58.6%	25,930,050	-51.8%	218,980	-97.7%
	9月	26,020,820	-46.6%	25,835,550	-36.2%	185,270	-97.8%
	10月	32,412,890	-35.2%	32,146,820	-19.2%	266,070	-97.4%
	11月	34,501,310	-30.5%	34,067,180	-16.1%	434,130	-95.2%
	12月	27,863,790	-40.9%	27,359,580	-27.9%	504,210	-94.5%
令和3年	1月	16,811,520	-61.0%	16,366,230	-51.1%	445,290	-95.4%
	2月						
	3月						
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						

※ 平成22年第2四半期(4月～6月調査)より、従業者数10人未満の宿泊施設を調査対象に加える拡充をしている。

この点を踏まえ、平成20年～平成23年における前年比は、従業者数10人以上の宿泊施設の実績をもとに算出している。

※ 1)平成19年～令和元年の数値は確定値、2)令和2年1月～令和2年12月の数値は第2次速報値、

3)令和3年1月の数値は第1次速報値である。

# ○宿泊施設タイプ別客室稼働率推移表

(単位:%)

		全体	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティホテル	簡易宿所	
平成19年	1)						—	
平成20年							—	
平成21年		59.7	49.4	53.3	67.2	71.1	—	
平成22年		64.0	52.9	52.6	68.3	75.7	—	
平成23年		51.8	34.7	46.8	62.3	67.1	—	
平成24年		54.8	35.5	48.0	67.3	72.5	—	
平成25年		55.2	33.4	52.3	69.5	75.7	—	
平成26年		57.4	35.2	54.0	72.1	77.3	—	
平成27年		60.3	37.0	56.0	74.2	79.2	27.1	
平成28年		59.7	37.1	56.9	74.4	78.7	25.0	
平成29年		60.5	37.5	57.5	75.3	79.5	28.0	
平成30年		61.2	38.8	58.3	75.5	80.2	30.2	
平成31年・令和元年		62.7	39.6	58.5	75.8	79.5	33.4	
令和2年		2)	34.6	25.0	30.9	43.5	34.7	15.2
令和2年	2)	1月	54.0	33.6	52.3	65.7	67.6	23.3
		2月	52.7	34.5	50.2	65.4	59.0	23.9
		3月	32.4	21.9	24.5	42.6	29.7	15.8
		4月	16.3	7.1	5.9	24.7	11.9	7.9
		5月	12.9	5.9	3.3	20.3	8.5	6.0
		6月	22.8	12.9	11.7	33.0	17.6	8.9
		7月	29.6	22.5	24.4	38.3	25.0	14.4
		8月	31.9	28.9	33.7	37.2	28.2	17.8
		9月	36.1	29.4	35.1	44.2	35.0	16.1
		10月	42.8	36.5	45.0	51.0	44.3	15.4
		11月	46.2	39.3	47.5	55.0	49.5	17.0
		12月	37.7	28.2	35.8	46.7	38.4	15.0
令和3年	3)	1月	23.7	12.7	15.0	33.7	20.7	11.2
		2月						
		3月						
		4月						
		5月						
		6月						
		7月						
		8月						
		9月						
		10月						
		11月						
		12月						

※ 平成22年第2四半期（4月～6月調査）より、従業者数10人未満の宿泊施設を調査対象に加える拡充をしている。

※ 1) 平成19年～令和元年の数値は確定値、2) 令和2年1月～令和2年12月の数値は第2次速報値、

3) 令和3年1月の数値は第1次速報値である。



# 宿泊旅行統計調査の概要

1. 調査対象期間	毎月(1ヶ月間)
2. 調査施設	全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの全宿泊施設 : 58,990施設
	調査施設数 :
	・令和2年12月(第2次速報) 21,007施設
	従業者数10名以上 12,946施設
	従業者数10名未満 8,061施設
	・令和3年1月(第1次速報) 22,668施設
	従業者数10名以上 13,576施設
	従業者数10名未満 9,092施設
	有効回収率:
	・令和2年12月(第2次速報) 54.5%(全体)
	従業者数10名以上 61.9%
	従業者数10名未満 42.6%
	・令和3年1月(第1次速報) 20.5%(全体)
	従業者数10名以上 24.8%
	従業者数10名未満 14.0%

# 宿泊旅行統計調査の活用における留意点

○当資料の数値は速報値であるため、確定値において数値が変更します。

○平成22年第2四半期(4～6月調査)から、従業者数10人未満の施設も調査対象となり、その際に母集団数に差異が生じております。調査結果をご活用の際は以下の点にご留意下さい。

## 調査対象拡充の概要

### 1. 平成22年第1四半期以前の調査

#### (1) 調査対象施設

平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

#### (2) 集計結果

全国の従業者数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

### 2. 平成22年第2四半期以降の調査 ※下線部は主な追加・変更点

#### (1) 調査対象施設

統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業者数に応じて以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業者数5人～9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

#### (2) 集計結果

全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

## ● 宿泊旅行統計調査の詳細データについて

<宿泊旅行統計調査>の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省観光庁ホームページ  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/>



観光庁

統計情報・白書

統計情報

宿泊旅行統計調査

(宿泊旅行統計調査ホームページ)